

未来

人権教育啓発シリーズNO.1



★この『未来』は、学校で進める人権教育を御理解いただくとともに、子どもも大人も、共に人権意識を育んでいく一助としての啓発紙です。本年度も様々なテーマで作成していきますので、お読みいただければ幸いです。

★今回は「子ども」をテーマに取り上げたいと思います。

子どもの権利ってなに？

ユニセフは、「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」の中で、4つの権利をあげています。
（日本ユニセフ協会ホームページより）

- ① **生きる権利**・・・健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を得て、健やかに成長する権利。
- ② **守られる権利**・・・あらゆる種類の差別や虐待、搾取から守られる権利。紛争下の子ども、障害をもつ子ども、少数民族の子どもなどは特別に守られる権利をもっている。
- ③ **育つ権利**・・・教育を受ける権利。また、休んだり遊んだりすること、様々な情報を得、自分の考えや信じる事が守られることも、自分らしく成長するためにとても重要な権利。
- ④ **参加する権利**・・・自分に関係のある事柄について自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり、活動したりする権利。そのときには、家族や地域社会の一員としてルールを守って行動する義務がある。

子どもの人権の尊重とその心身にわたる福祉の補償などに関しては、日本国憲法や、児童福祉法、児童憲章などにおいてもその基本原理や理念が示されています。しかし、子どもたちを取り巻く環境は深刻で、子どもの人権が完全に守られているとはいえない状況にあります。このような状況を踏まえ、大人たちが、未来を担う子どもたち一人一人の人格を尊重し、健全に育てていくことの大切さを改めて認識し、責任を果たしていくことが求められています。



こんなとき、どう声をかけますか？



次のような場面の時、皆さんはお子さんにどんな声をかけますか？普段の様子を思い浮かべて、考えてみてください。

低い点数の答案
用紙を見たとき

だからダメなんだ

テレビばかり見
ている子に

少しは勉強でもし
なさい！

夜遅くに帰って
きた子を見たとき

何時だと思ってる
んだ！



これらは、あなたはこうあるべきだという断定的な響きと相手を責めるニュアンスが感じられ、反発を招きやすい言葉です。大人はどうしても子どもを評価してしまうような言葉かけをしてしまいがちです。「あなた」が主語になっているので、「YOUメッセージ」と言います。これを、次のような言い方に変えたらどうでしょう？

〇〇点とは、驚
いたな

手伝いをしてく
れるとうれしいな

帰ってきてよか
った！心配したよ

「かがやき〜
人権に関する社
会教育指導資
料」 栃木県教
育委員会より

これらは、あくまでも自分の気持ちを子どもに伝えているので、子どもも素直に受け入れる言葉です。これは、「わたし」が主語になっているので、「I（アイ）メッセージ」と言います。私たちは無意識にYOUメッセージを使ってしまうので、全てをIメッセージにすることは難しいですが、Iメッセージを心がけることで、子どもとの対話が続き、信頼関係が築かれていきます。さらに、Iメッセージでほめることにより、子ども自身が認められる喜びを深く感じ、自尊感情も高まっていきます。ぜひIメッセージで「愛メッセージ」を伝えていきましょう。